書式第１２号（法第２８条関係）

２０２５年度　事　業　報　告　書

2025年7月1日から2026年6月30日まで

特定非営利活動法人プラチナ・ギルドの会

1　事業の成果

今年度は、当会が活動すべき７つの事業領域（地域活性化、高齢者、こども、障がい者、ジェンダーギャップ、外国人問題、環境問題）に注力し他団体との連携強化を図り、相応の進捗があったものの、懸案の環境・ジェンダーギャップの分野では、さしたる成果を挙げられなかった。
また、企業説明会やスタディツアーを通じて、会のPRも進み、新規入会者が増え、会員の新陳代謝も加速している。ホームページも大幅なリニューアルを実施し、外部からも見やすくなったので、今後、より効果的な情報発信に繋げていく。
定例会事業は、ハイブリッド運営を毎月継続しているが、より公開性の高い「オープン定例会」を企画し、会員以外にも広く参加を募り、当会の外部への発信力の強化を図った。
また講演形式だけでなく、交流会形式も取り入れ、単なる勉強会に止まらず、他団体との連携を深め、会員の次の行動を促す実践的定例会を心掛けている。
顕彰事業「第12回プラチナ・ギルド　アワード」は、昨年度に引き続き高水準の応募が集まり、候補団体のレベル向上と多様性の拡がりに、質量ともに表彰制度としての順調な成長がうかがえる。
シニア人材研修事業については、「親の介護」に焦点を当てた職員向けセミナーを5回実施したが、社会課題として非常に関心が高く、従来の枠を超えて、他企業にも対象を拡げることに成功している。
支援コンサルティング事業としては、主力の早稲田大学のシニア社会人向け講座ＬＲＣ受講生へのスタディツアーが順調に拡大した他、2024年度は立教セカンドステージ大学、そして2025年度は東京セカンドキャリア塾においても事業を開始している。
その結果、ツアーの参加者から当会への新規入会者も順調に増加しており、高齢化が課題であった当会会員の新陳代謝が促進されている。
さらに、早稲田大学とは更なる協働が進み、ワーキング・ケアラー向けの共同シンポジウムを開催して好評を博し、当会のブランド向上にも大きく寄与している。
また、東京都の認定更新審査を経て、認定団体として運営管理面の強化が図れている。

（１）特定非営利活動事業

事業名	事　業　内　容	実施日	実　施 場　所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額（千円）
定例会及び講演・交流会	・講演「入院中の子どもに付き添う家族の現状と私たちにできること～ひとりの付き添いをみんなの付き添いに」 講師：[redacted]	2025年7月29日	【150回定例会】 大崎ﾌｫﾚｽﾄﾋﾞﾙ 日本総研会議室 ／オンライン	6名	34名	
	・講演「次世代をみんなで育てる時代へ」 講師：[redacted]	2025年8月26日	【2025年度通常総会・151回定例会】 大崎ﾌｫﾚｽﾄﾋﾞﾙ 日本総研会議室 ／オンライン	8名	38名	

【特別定例会】 ●当会活動に関する過去の振り返りと今後の活動の方向性についての、フリー・ディスカッション （KJ法に基づく意見交換）	2025年9月20日	【152回定例会】 五反田文化センター 第２講習室	4名	19名	
・講演：「危機管理能力を試された２つの“危機”～日常なピンチにも活かせる心構え」 講師：[redacted]	2025年10月28日	【153回定例会】 大崎ﾌｫﾚｽﾄﾋﾞﾙ 日本総研会議室 ／オンライン	6名	39名	４２７
・講演：「人生100年時代（定年3.0）豊かなサードエージを迎える為には」 講師：[redacted]	2025年11月25日	【154回定例会】 大崎ﾌｫﾚｽﾄ･ﾋﾞﾙ 日本総研会議室 ／オンライン	6名	39名	
【プラチナギルド・早稲田大LRC共同シンポジウム】 テーマ：「ある日突然やってくる、あなたの人生の危機」 ●基調講演：[redacted] ●シンポジウム シンポジスト：[redacted] ●ワークショップ： 「けあとの遭遇」 [redacted]	2025年12月13日	早稲田大学 日本橋キャンパス	15名	47名	
・講演：「我々の知らない現代の若者の貧困問題」 講師：[redacted]	2026年1月26日	【156回定例会】 大井町きゅりあん ／オンライン	6名	27名	
・講演：「ボランティア・NPOの現場から」 講師：[redacted]	2026年2月24日	【157回定例会】 大井町きゅりあん／ オンライン	6名	29名	
第１２回プラチナギルド・アワード選考経緯と受賞団体の紹介	2026年3月31日	【158回定例会】 大井町きゅりあん オンライン	6名	40名	

	・講演：「やりがいある介護、後悔しない介護」 講師：[redacted]	2026年4月28日	【159回定例会】 大井町きゅりあん／オンライン	6名	25名	
	・講演「私の所属するNPO団体とその活動について」 講師：[redacted]	2026年5月27日	【160回定例会】 東京ウィメンズ・プラザ／オンライン	6名	34名	
	・講演：「人口が減るからこそ豊かになる人づくり・まちづくり・社会づくり」 講師：[redacted]	2026年6月29日	【161回定例会】 大井町きゅりあん／オンライン	6名	40名	
人材研修事業	東京スター銀行職員向け介護セミナー 「仕事と介護の両立の為の介護知識Ⅲ」 講師：[redacted]（当会会員）	2025年11月14日	東京スター銀行	3名	38名	２８７
	三十三銀行職員向け介護セミナー 「親の介護に備える＃２」 講師：[redacted]（当会会員）	2025年11月21日	三十三銀行 （四日市） 本店会議室	3名	33名	
	東京スター銀行職員向け介護セミナー 「仕事と介護の両立の為の介護知識Ⅳ」 講師：[redacted]（当会会員）	2025年12月18日	東京スター銀行 本店会議室	3名	40名	
	UBE株式会社職員向け介護セミナー 「仕事と介護の両立の為の実践知識」 講師：[redacted]（当会会員）	2026年5月19日	UBE株式会社 ／オンライン	3名	165名	
	三十三銀行職員向け介護セミナー 「仕事と介護の両立の為の介護知識」 講師：[redacted]（当会会員）	2026年6月10日	三十三銀行 （四日市） 本店会議室	3名	45名	
顕彰事業	第１２回プラチナ・アワード授賞式 表彰５団体 特別表彰２団体	2026年4月13日	東京ウィメンズ・プラザ	10名	60名	７９８

情報の発信・提供	プラチナ・ギルドの会 「メルマガ」の発行	原則毎月1回発行	西五反田事務所	3名	期末 登録者数 約600名	６４７
	プラチナ・ギルドの会 「ぷらちな便り」発行	2025年10月1日	西五反田事務所	3名	2130部	
	冊子「プラチナ・ギルドの会のご案内」2026年版	2026年1月発行	西五反田	2名	1500部	
	神奈川県庁いのち・未来戦略本部室主催「人生100歳時代ネットワーク」に参加し、県内企業・ＮＰＯ団体と交流する中で、当会の活動内容を積極発信	原則毎月１回ZOOM交流会	オンライン	7名	各回約50名	
	理事長講演：「プラチナ・ギルドの会の活動紹介」	2026年1月28日	東京セカンドキャリア塾 MEETING DAY 東京都中央区 相互館タワー ビジョンセンター	2名	80名	
	理事長講演：「プラチナ・ギルドの会の活動紹介～スタディツアーのご案内」	2026年4月25日	早稲田大学 社会人事業推進室 LRCオリエンテーション 東京都中央区 日本橋	2名	80名	
視察ツアーの企画と開催（支援・コンサル事業）	【早稲田大LRCとの共同企画】 障がい者雇用の為に設立された特例子会社で、障がい者ならではの感性を活かして、石鹸づくりという本業とは全く異なるビジネスモデルに挑戦する姿を学ぶ。	2025年9月24日	株式会社 リンクライン 神奈川県小田原市	2名	7名	
	【早稲田大LRCとの共同企画】 東日本大震災における原子力発電所からの放射能漏洩により、一時全村避難を余儀なくされ、解除後も人口回復が進まない飯館村の現状と、再活性化にチャレンジする若者たちの奮闘ぶりを視察する。	2025年9月30日～10月1日	認定NPO法人 ふくしま再生の会 福島県相馬郡飯館村	5名	12名	

【早稲田大LRCとの共同企画】 関東近郊にあり、古くから焼き物・栗の名産で知られながら、交通アクセスが悪く、人口減少が進む中で、移住者の目線で新たに笠間のに力を見出し、民泊施設を充実させて、移住・観光促進を図る活動状況を現地で体感し、地域活性化を考える。	2025年9月30日～10月1日	NPO法人 笠間の魅力発信隊 茨城県笠間市	4名	13名	
【早稲田大LRCとの共同企画】 働きながら子育てをするシングルマザー専用のシェアハウスの運営を学び、単なるシェルターではなく、地域の高齢者とこどもの交流を促進する地域活動としての側面を学ぶ。	2025年9月30日	シングルズ・キッズ株式会社 東京都世田谷区用賀	2名	7名	
【早稲田大LRCとの共同企画】 外国人難民による中古パソコン修理を通じて、難民の生活支援をビジネスへと進化させているビジネスモデルを学びながら、起業の面白さについて学ぶ。	2025年10月1日	ピープル・ポート株式会社 神奈川県横浜市港北区	名	13名	１０９１
【早稲田大LRCとの共同企画】 知的障がい者の雇用において、チョコレートの製造・販売という独自のビジネスモデルを立ち上げ、B型作業所を大幅に上回る賃金支給と、障がい者の特性を生かした商品開発を実現している。	2025年10月2日	一般社団法人AOH (ショコラボ) 神奈川県横浜市都筑区	3名	14名	
【早稲田大LRCとの共同企画】 家庭内暴力やいじめを誠員に家出して、新宿歌舞伎町に屯する女子中学生・高校生を、予期せぬ妊娠から保護する活動を通じて、見過ごされた社会課題を学ぶ。	2025年12月6日	認定NPO法人 新宿妊娠SOS～キッズ＆ファミリー 東京都新宿区	2名	10名	
【早稲田大LRCとの共同企画】 癌の告知を受け、手術・治療に取り組む罹患者やその家族を対象に、メンタル・ケアを無償で提供する同団体の活動ぶりを現場で学ぶ。	2025年12月11日	認定NPO法人 マギーズ東京 東京都江東区	2名	11名	
【早稲田大LRCとの共同企画】 難民問題について理解を深めた昨年度のアルペのスタディツアー参加者を対象に、難民との間で、農作業やたこ焼きづくりを協働し、直接交流を楽しむ、	2025年12月27日	認定NPO法人 アルペなんみんセンター 神奈川県鎌倉市	名	11名	
【立教セカンドステージ大学】 難民申請が通らない仮放免中の外国人との直接交流や生活支援を通じて、先進国で最も厳しいと言われる日本の入国管理法の問題点を探る。	2026年2月11日	認定NPO法人 アルペなんみんセンター 神奈川県鎌倉市	3名	13名	
【東京セカンドキャリア塾】 雑誌販売に伴い、売り上げの半分を還元する仕組みにより、路上生活者の生活支援を行う様子を見学し、ホームレスの人たちと直接交流の中で雇用・貧困問題を考える。	2026年2月12日	認定NPO法人 ビッグイシュー日本 東京都新宿区	2名	3名	
【東京セカンドキャリア塾】 日本に定住する難民・外国人移住者の支援の為に設立された団体で、日本語に不慣れな外国人の日本語教育や、難民の子どもたちの学習支援を行っており、ツアーでは、実際に学習の場で参加して交流を図り、難民への理解を深める。	2026年2月14日	社会福祉法人 さぽうと２１ 東京都品川区上大崎	4名	16名	

【東京セカンドキャリア塾】 知的障がい者に対し、空間認知・比較・分類力等を学ぶ座学、身体的基礎をつくるエクササイズに、インクルーシブな交流を通じての農作業をセットして、認知機能向上を図る試みを視察する。	2026年2月19日	NPOユメソダテ 東京都世田谷区松原	3名	5名
【東京セカンドキャリア塾】 高齢化の進む都心の団地内で、こども食堂、よろず相談、子育てカフェ、外国人生活支援の４つの機能で、新しい地域の活性化を目指す姿を学ぶ。	2026年3月3日	一般社団法人ピノッキオ 東京都北区	２名	3名
【東京セカンドキャリア塾】 孤立した家庭への家庭訪問による子育て支援のネットワークを提供しており、現場で支援活動をしているホーム・ビジターの生の声も聴きながら、ダブルインカム時代のこどもの育成を考える。	2026年3月5日	認定NPO法人ホームスタート・ジャパン 東京都新宿区	２名	3名
【東京セカンドキャリア塾】 かつては日本の高度経済成長を支えた、山谷地区における日雇い労務者の高齢化に対処すべく、地域で包括して生活支援のネットワークを形成する実情を学ぶ。	2026年3月11日	NPO法人山友会 東京都台東区清川	2名	3名
【東京セカンドキャリア塾】 近年急速な勢いで全国に拡がる「こども食堂」は、貧困・福祉に止まらず、地域の情報ネットワークとしての存在感が増している。参加者の討論によって、新しい「こども食堂」の在り方を考える。	2026年3月18日	NPO全国こども食堂支援センター：「むすびえ」 東京都渋谷区	2名	8名
【早稲田大LRCとの協働企画】 近年急速な勢いで全国に拡がる「こども食堂」は、貧困・福祉に止まらず、地域の情報ネットワークとしての存在感が増している。参加者の討論によって、新しい「こども食堂」の在り方を考える。	2026年5月20日	NPO全国こども食堂支援センター：「むすびえ」 東京都渋谷区	2名	16名
【早稲田大LRCとの協働企画】 知的障がい者に対し、空間認知・比較・分類力等を学ぶ座学、身体的基礎をつくるエクササイズに、インクルーシブな交流を通じての農作業をセットして、認知機能向上を図る試みを視察する。	2026年5月21日	NPOユメソダテ 東京都世田谷区松原	3名	10名
【早稲田大LRCとの協働企画】 ある日突然に始まる我が子の入院に付き添い続ける保護者の心労に、食事・生活用品の提供で寄り添う活動現場に訪問し、作業を手伝いながら問題意識を深める。	2026年5月22日	認定NPO法人キープ・スマイリング 東京都中央区	1名	5名
早稲田大LRCとの共同企画】 日本に定住する難民・外国人移住者の支援の為に設立された団体で、日本語に不慣れな外国人の日本語教育や、難民の子どもたちの学習支援を行っており、ツアーでは、実際に学習の場で参加して交流を図り、難民への理解を深める。	2026年5月23日	社会福祉法人さぽうと２１ 東京都品川区	5名	15名

【早稲田大LRCとの共同企画】 東日本大震災における原子力発電所からの放射能漏洩により、一時全村避難を余儀なくされ、解除後も人口回復が遅まない飯館村の現状と、再活性化にチャレンジする若者たちの奮闘ぶりを視察する。	2026年5月23日～24日	認定NPO法人 ふくしま再生の会 福島県相馬郡 飯舘村	4名	13名	
【早稲田大LRCとの共同企画】 雑誌販売に伴い、売り上げの半分を還元する仕組みにより、路上生活者の生活支援を行う様子を見学し、ホームレスの人たちと直接交流の中で雇用・貧困問題を考える。	2026年6月5日	認定NPO法人 ビッグ・イシュー日本 東京都新宿区	3名	13名	
【早稲田大LRCとの共同企画】 かつては日本の高度経済成長を支えた、山谷地区における日雇い労務者の高齢化に対処すべく、地域で包括して生活支援のネットワークを形成する実情を学ぶ。	2026年6月5日	NPO法人 山友会 東京都台東区	3名	13名	
【早稲田大LRCとの共同企画】 孤立した家庭への家庭訪問による子育て支援のネットワークを提供しており、現場で支援活動をしているホーム・ビジターの生の声も聴きながら、ダブルインカム時代のこどもの育成を考える。	2026年6月10日	認定NPO法人 ホームスタート・ジャパン 東京都新宿区	3名	13名	

（2）その他の事業

事業名	事　業　内　容	実　施 日　時	実　施 場　所	従事者 の人数 受益対象者の 範囲／人数	事業費 の 金額 （千円）
	なし				

書式第１３号（法第２８条関係）

事業報告用

2025年度　活動計算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人　プラチナ・ギルドの会

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】経常収益		
1　受取会費		669,000
正会員受取会費	605,000	
賛助会員受取会費	64,000	
2　受取寄附金		433,000
受取寄附金	433,000	
施設等受入評価益	0	
3　受取助成金等		0
受取補助金	0	
4　事業収益		2,065,641
受託料事業収益	2,055,641	
講演料事業収益	10,000	
5　その他の収益		6,709
受取利息	6,709	
経常収益計		3,174,350
【B】経常費用		
1　事業費		
（1）人件費		0
給料手当	0	
役員報酬	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
（2）その他経費		2,603,081
業務委託費	88,000	
諸謝金	1,143,877	
印刷製本費	52,162	
会議費	340,365	
旅費交通費	391,838	
通信運搬費	64,580	
消耗品費	47,675	
会場利用費	13,000	
保険料	19,189	
プラチナ・ギルド　アワード顕彰金	400,000	
支払手数料	39,955	
雑費	2,440	
事業費計		2,603,081
2　管理費		
（1）人件費		55,000
役員報酬	0	
給料手当	0	
退職給付費用	0	
福利厚生費	55,000	
（2）その他経費		1,628,828
業務委託費	60,000	
印刷製本費	547,035	
通信運搬費	154,754	
通信施設等利用料	26,400	
消耗品費	176,616	
地代・家賃	509,876	
租税・公課	3,200	
支払手数料	11,935	
その他経費	139,012	
管理費計		1,683,828
経常費用計		4,286,909
当期経常増減額　【A】－【B】　・・・①		-1,112,559
【C】経常外収益		
固定資産売却益	0	
過年度損益修正益	0	
経常外収益計		0
【D】経常外費用		
固定資産売却損	0	
災害損失	0	
過年度損益修正損	0	
経常外費用計		0
当期経常外増減額　【C】－【D】　・・・②		0
税引前当期正味財産増減額　①+②　・・・③		-1,112,559
法人税、住民税及び事業税　・・・④		0
前期繰越正味財産額　・・・⑤		3,877,160
次期繰越正味財産額　③－④+⑤		2,764,601

書式第１５号（法第２８条関係）

事業報告用

2025年度　貸借対照表

特定非営利活動法人　プラチナ・ギルドの会

（単位：円）

科目	金額	小計・合計
【A】資産の部		
1　流動資産		
現金預金	2,779,201	
前払い金	15,400	
棚卸資産	0	
流動資産合計　・・・①		2,794,601
2　固定資産		
（1）有形固定資産	0	
車両運搬具	0	
什器備品	0	
（2）無形固定資産	0	
ソフトウェア	0	
借地権	0	
（3）投資その他の資産	0	
敷金	0	
長期貸付金	0	
固定資産合計　・・・②		0
【A】資産合計　①+②		2,794,601
【B－1】負債の部		
1　流動負債		
前受金	30,000	
流動負債合計　・・・③		30,000
2　固定負債		
長期借入金	0	
退職給付引当金	0	
固定負債合計　・・・④		0
負債合計　③+④		30,000
【B－2】正味財産の部		
前期繰越正味財産額	3,877,160	
当期正味財産増減額	▲1,112,559	
正味財産合計		2,764,601
【B】負債及び正味財産合計　【B－1】＋【B－2】		2,794,601

書式第１６号（法第２８条関係）

2025　年度　　計算書類の注記　　事業報告用

プラチナ・ギルドの会

1．　重要な会計方針

計算書類の作成は、ＮＰＯ法人会計基準によっています。

(1) 年会費の内、30,000円については、2026年度会費の事前納付の為、負債勘定の前受金に計上しています。

(2) 2026年度実施予定の定例会会場予約（大井町きゅりあん）について、会場利用料15,400円前納分を前払い金として計上しています。

2．　事業別損益の状況

（単位：円）

科目	定例会	顕彰	研修・講演	支援・ｺﾝｻﾙ	事業部門計	管理部門	合計
Ⅰ　経常収益							
1　受取会費	427,270	241,730	0	0	669,000	0	669,000
2　受取寄付金	0	433,000	0	0	433,000	0	433,000
3　受託料事業収益	0	0	1,100,000	955,641	2,055,641	0	2,055,641
4　講演料事業収益	0	0	0	10,000	10,000	0	10,000
5　受取利息	0	6,709	0	0	6,709	0	6,709
経常収益計	427,270	681,439	1,100,000	965,641	3,174,350	0	3,174,350
Ⅱ　経常費用							
(1)							
業務委託費	0	40,000	0	48,000	88,000	0	88,000
会議費	327,580	7,385	0	5,400	340,365	0	340,365
印刷製本費	3,933	45,325	0	2,904	52,162	0	52,162
諸謝金	71,137	0	261,137	811,603	1,143,877	0	1,143,877
旅費・交通費	0	188,332	22,836	180,670	391,838	0	391,838
顕彰金	0	400,000	0		400,000	0	400,000
通信運搬費	0	64,230	350	0	64,580	0	64,580
保険料	0	0	0	19,189	19,189	0	19,189
消耗品費	5,345	42,330	0	0	47,675	0	47,675
支払手数料	11,575	5,555	2,420	20,405	39,955	0	39,955
会場利用料	7,700	5,300	0	0	13,000		13,000
雑費	0	0	0	2,440	2,440	0	2,440
事業費　計	427,270	798,457	286,743	1,090,611	2,603,081	0	2,603,081
人件費					0	55,000	55,000
印刷製本費					0	547,035	547,035
通信運搬費					0	154,754	154,754
通信施設等利用料					0	26,400	26,400
地代・家賃					0	509,876	509,876
業務委託費					0	60,000	60,000
消耗什器備品費					0	176,616	176,616
支払手数料					0	11,935	11,935
租税・公課					0	3,200	3,200
その他経費					0	139,012	139,012
管理費　計					0	1,683,828	1,683,828
経常費用　計	427,270	798,457	286,743	1,090,611	2,603,081	1,683,828	4,286,909
当期経常増減額	0	▲117,018	813,257	▲124,970	571,269	▲1,683,828	▲1,112,559

—

3．役員およびその近親者との取引の内容

事業年度における役員およびその近親者との取引は、以下の通りです。

(有)向陽介護システムズは、廣瀬豊邦理事が主宰する法人です。

（単位：円）

	計算書類に計上された取引	内、役員との取引	内、近親者及び・支配法人との取引
(収入)			
受取寄付金	433,000	250,000	
(支出:事業費)			(向陽介護システムズ)
諸謝金	1,143,877	30,000	150,000
旅費交通費	391,838	48,734	12,026
通信運搬費	64,580		64,230
消耗品費	47,675		4,930
印刷製本費	52,162		23,578
会議費	340,365		4,085
			合計 258,849

書式第１７号（法第２８条関係）

事業報告用

2025年度　財産目録

特定非営利活動法人　プラチナ・ギルドの会

（単位：円）

科目	金額	小計	合計
【A】資産の部			
1　流動資産			
現金預金		2,779,201	
手元現金	0		
三井住友銀行普通預金	2,779,201		
前払い金		15,400	
棚卸資産		0	
販売用寄付金	0		
流動資産合計　・・・①		2,794,601	
2　固定資産			
（1）有形固定資産		0	
車両運搬具	0		
事業用車両	0		
什器備品	0		
パソコン	0		
（2）無形固定資産		0	
ソフトウェア	0		
オペレーションシステム	0		
文書編集ソフト	0		
借地権	0		
（3）投資その他の資産		0	
敷金	0		
長期貸付金	0		
固定資産合計　・・・②		0	
【A】資産合計　①+②			2,794,601
【B－1】負債の部			
1　流動負債			
前受金		30,000	
会費前受金	30,000		
流動負債合計　・・・③		30,000	
2　固定負債			
長期借入金		0	
退職給付引当金		0	
固定負債合計　・・・④		0	
【B－1】負債合計　③+④			30,000
【B－2】正味財産合計　【A】－【B－1】			2,764,601

書式第１８号（法第２８条関係）

事　業　報　告　用

２０２５年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人　プラチナ・ギルドの会

１　確認事項（法第２０条及び第２１条を確認の上、チェックを入れてください。）

☑以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第２０条関係）
☑各役員について、親族の規定に違反していません。（法第２１条関係）

２　役員一覧

	役　名 どちらかに○	（フリガナ） 氏　　名	[redacted]	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
1	（理事）・監事	ｸﾎﾞ　ｹﾝ 久保　健		2021年10月1日 ～ 2026年 6月30日	年　月　日 ～ 年　月　日
2	（理事）・監事	ｺﾔﾏ　ﾏｻﾀｶ 小山　昌孝		2017年10月1日 ～ 2025年 9月30日	年　月　日 ～ 年　月　日
3	（理事）・監事	ｻｲﾄｳ　ｼｮｳｲﾁ 斎藤　彰一		2020年7月28日 ～ 2026年 6月30日	年　月　日 ～ 年　月　日
4	（理事）・監事	ﾋﾛｾ　ﾄﾖｸﾆ 廣瀬　豊邦		2022年10月1日 ～ 2026年 6月30日	年　月　日 ～ 年　月　日
5	（理事）・監事	ﾌｸｲ　ｶｽﾞｺ 福井　和子		2022年10月1日 ～ 2026年 6月30日	年　月　日 ～ 年　月　日
6	理事・（監事）	ｳﾂﾐ　ﾘｭｳｼﾞｭ 内海　隆樹		2015年10月1日 ～ 2026年 6月30日	年　月　日 ～ 年　月　日

書式第４号（法第１０条・第２８条関係）

社員のうち10人以上の者の名簿

２０２６年6月３０日現在

特定非営利活動法人　プラチナ・ギルドの会

	氏　　名
1	勝俣　芳朗
2	湯屋　基生
3	入江　眞知子
4	奥山　俊一
5	森田　次則
6	近藤　隆
7	大橘　美奈子
8	中野　孝幸
9	宮田　芳光
１０	有留　武司